

# 第24回三木市俳句まつり

日時 令和6年3月2日(土) 午前10時より

会場 三木市吉川町公民館

## 行事予定

- ★吟行会及び当日句会
- ★応募作品成績発表及び表彰



「丹波篠山市今田町 丹波焼の里」

(現役最古の登窯)

主催 三木市俳句まつり実行委員会

後援 三木市・三木市教育委員会

三木市議会・神戸新聞社・JAみのり

吉川町文化協会・吉川町公民館

## 丹波焼の里—丹波篠山市今田町

日本六古窯の一つ、丹波焼の里として全国的にも知られている丹波篠山市今田町は、現在も約60軒の窯元が、伝統のなかにも新しい丹波焼へと発展をとげている。

今も桃源郷だという人もある四斗谷から流れて今田の町を横切る四斗谷川には、蛍が舞うという緑の山野に囲まれた美しい町である。

町内の陶芸美術や陶の里はもとより、虚空蔵山や西光寺山、和田寺山に囲まれたこの郷は、陶芸ファンはもとより、ハイキングなどいろんな人が足を運んでいる。

特に、50メートルに及ぶ登窯やそのそばに立つ臣の木の大木は、この街の歴史やそのたたくまのシンボルとして、何百年の風雪に耐えた凛々しいそよぎをみせている。

また、この町の言葉のはしばしには、雅びの香りがある、言葉を交わすところらまではんやりとした気分になる。

(文：斧俳句会)



「臣の木 (大アベマキ)」



「虚空蔵山をのぞむ風景」



「四斗谷川の風景」



「登窯の窯尻 (呼称・ハチノス)」

# 俳句まつり作品募集要項

## ◆ 開催目的

大人から子供まで、俳句を通じて、情操と感性を育み交流を図ることを目的とする。

## ◆ 応募部門

イ. 一般の部

ロ. 小・中・高校生の部

※小学校6年生・中学校1年、2年生・高校生と他学年の希望者

## ◆ 2句1組

1人6組まで・自作未発表作品に限る（季節を問いません）

※小学生・中学生・高校生は1人1句

## ◆ 投句料

1組(2句)1,000円(定額小為替・普通為替・現金書留)

※小学生・中学生・高校生は無料

## ◆ 投句先

〒673-1114 三木市吉川町吉安246

吉川町公民館内 三木市俳句まつり係

電話 0794-72-1577 (休館日:祝日・月末日)

※申込書は、公民館窓口、公民館ホームページでも入手できます。

## ◆ 締切り日(当日消印有効)

一般の部 令和5年11月15日(水)

小・中・高校生の部 令和5年11月1日(水)

## ◆ 選者

朝妻 力(雲の峰主宰)

小杉 伸一路(九年母主宰)

島田 牙城(里俳句会代表)

竹中 宏(翔臨主宰)

中岡 毅雄(いぶき代表)

はりま だいすけ(斧主宰)

松本 幸平(吉川白萩俳句会代表)

森 ちづる(斧副主宰・編集長)

山口 昭男(秋草主宰)

吉村 玲子(三田俳句協会会長)

## ◆ 表彰

三木市長賞・三木市教育長賞・三木市議会議長賞

神戸新聞社賞・JAみのり賞・吉川町文化協会会長賞

吉川町公民館長賞・選者特選句賞・佳作・奨励賞

## ◆ 当日句会及び吟行会 ※吉川町公民館より送迎バス有

吟行地:丹波焼窯元等(丹波篠山市今田町)

午前10時～11時30分

吟行会及び当日句会 出句1人2句 共に締切り 正午

表彰は大会賞に準じる

## ◆ 問合わせ先

〒673-1102 三木市吉川町富岡 127 西原 和孝 TEL090-5058-4290